



一般社団法人

日本外科学会

JAPAN SURGICAL SOCIETY



一般社団法人

日本外科学会



外科医のための 看護師の 特定行為研修修了者 活用ガイド



外科医のための看護師の特定行為研修修了者活用ガイド

2024年11月発行

発行・企画・制作

一般社団法人 日本外科学会 外科医労働環境改善委員会

〒105-5111 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービルディング南館11階

お問い合わせ先

TEL:03-5733-4094 平日10時30分～12時/13時～14時30分

※本活用ガイドの無断転用、無断複製を禁じます。

はじめに

2024年4月より、医師の時間外・休日労働に対する上限規制が施行されました。2012年に実施された「日本外科学会会員の労働環境に関するアンケート調査」では、外科医の約4割が週80時間以上の労働に従事していることが明らかになり、^①また、厚生労働省が公表した2022年実施の医師の労働時間に関する調査研究では、外科を専門とする医師の7.1%が、年間1,860時間を超える時間外・休日労働（週80時間相当の労働）を行っていることが示されています。^②

外科医の長時間労働の改善は、医師自身の健康を守るだけでなく、患者さんに安全な医療を提供するためにも不可欠です。

そのため、全国の医療機関で外科医の労働環境改善への取り組みが進められています。

こうした状況の中で、外科医の労働負担を減らす有効な方策の一つが、

特定行為研修修了看護師（本活用ガイドでは「特定看護師」と表記）の活用です。

今回、外科医と特定看護師の協働による外科医の勤務環境改善やチーム医療の推進を広め、

質の高い医療の実践を支援することを目的に、

日本外科学会外科医労働環境改善委員会内に設置したワーキンググループにて本活用ガイドを作成しました。

忙しい外科医の皆様にも手に取っていただけるよう、

オリジナルイラストやQ&Aを用いて分かりやすく工夫し、

日常的に特定看護師と関わる中で知りたいと感じる情報を盛り込んでいます。

本活用ガイドを通じて、全国の外科医の皆様が特定看護師と助け合い、

より良い外科診療を実現する一助となることを願っております。

日本外科学会外科医労働環境改善委員会
医療の効率化に向けた領域別タスクシフト推進事業ワーキンググループ
2024年11月



①日本外科学会、平成24年度日本外科学会会員の労働環境に関するアンケート調査報告書
https://jp.jssoc.or.jp/huge/info/info20130702_02.pdf (2024年11月14日アクセス)
②厚生労働省、第18回医師の働き方改革の推進に関する検討会 資料2
<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001232021.pdf> (2024年11月14日アクセス)

外科医のための 看護師の 特定行為研修修了者 活用ガイド

CONTENTS

1 はじめに

外科領域の特定行為

4 特定行為研修の基礎知識

5 特定看護師に期待する役割

6 特定看護師の活躍促進ステップ

7 外科病棟での特定行為のイメージ

9 外科病棟での特定行為／消化器・乳腺外科編

10 外科病棟での特定行為／心血管・呼吸器外科編

11 特定行為区分及び特定行為（21区分38行為）

12 特定行為研修の一部を免除した研修：領域別パッケージ研修

13 参考 Web サイト

実例集 外科系病棟で輝く特定看護師

15 国立病院機構大阪医療センター

17 前橋赤十字病院

19 新東京病院

21 聖マリアンナ医科大学病院

23 戸塚共立第1病院

25 日本医科大学武蔵小杉病院

27 関西医科大学附属病院

29 市立貝塚病院

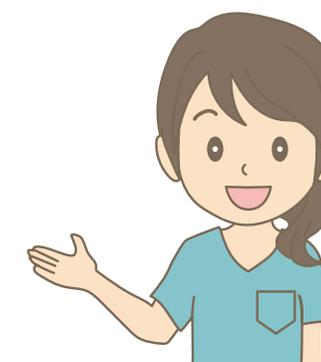
31 徳島大学病院

33 大分県立病院

35 熊本大学病院

特定行為研修 Q&A

38 Q & A



外科領域の 特定行為



特定行為研修の 基礎知識

知って
おきたい
ポイント

特定行為研修制度は、いわゆる「団塊の世代」全員が後期高齢者になる2025年に向け、在宅医療を推進することを目的とし、一定の診療の補助を手順書に基づき実施する看護師を計画的に育成するため、2015年にスタートしました。

●特定行為

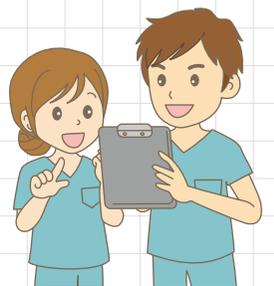
特定行為とは、診療の補助業務であり、看護師が手順書に基づき行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる、P11に示す21区分38行為を指す。

●特定行為研修

看護師が手順書に基づき21区分38行為の特定行為を実施するために、厚生労働省が開発した標準的な教育プログラム。1つまたは2つ以上の特定行為区分に係る特定行為研修を行う厚生労働省が指定した施設において研修が可能。



特定行為研修を受けた看護師は、
医師の作成した **手順書** に基づき、
医師の判断を待たずに
特定行為を実施することができます。



.....  詳しくはこちら

看護師の特定行為研修制度
ポータルサイト

URL: <https://portal.tokutei-nurse-council.or.jp/index.html>

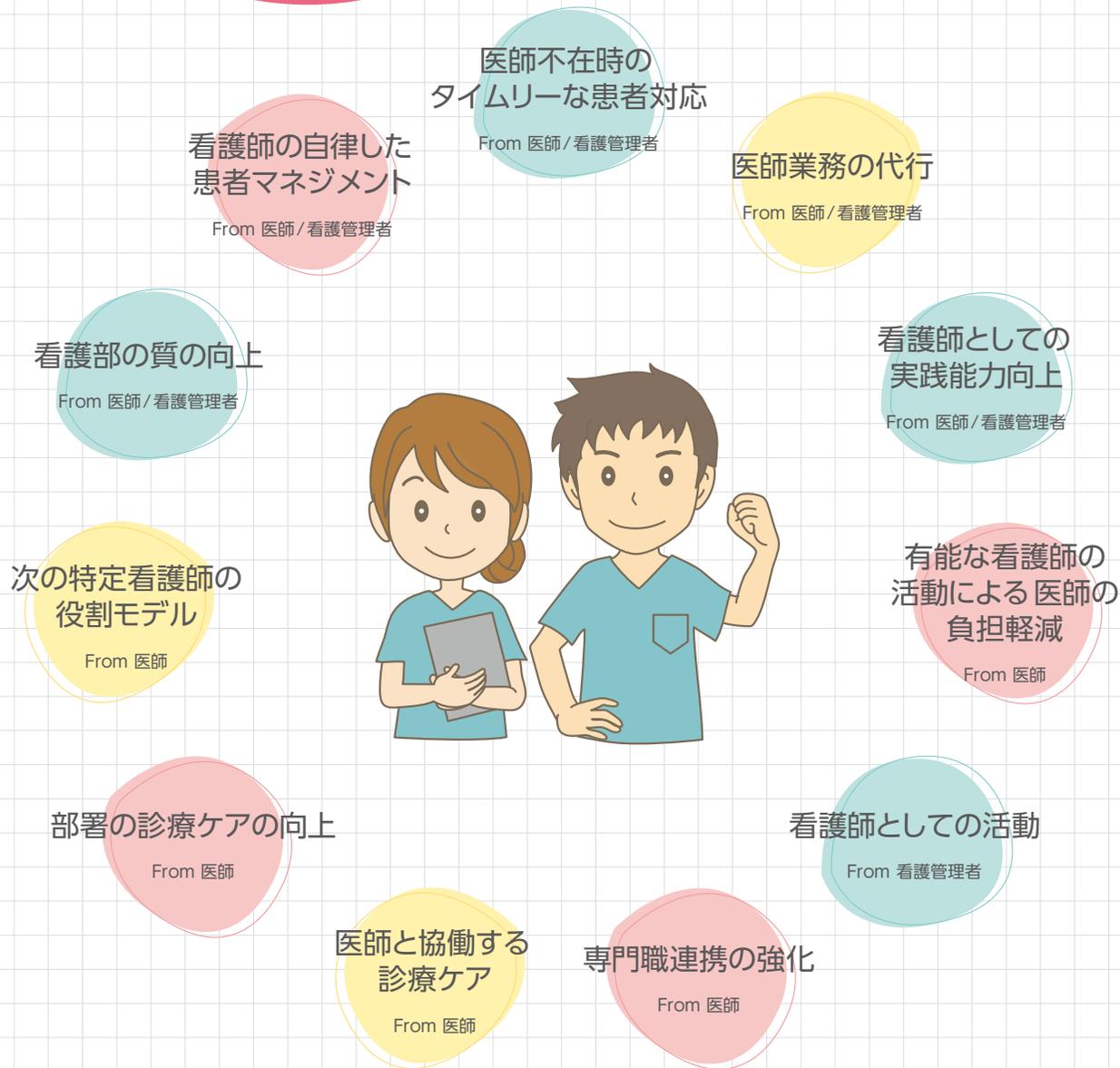


特定看護師に 期待する役割

特定看護師の組織における配置・活用ビジョンと、特定看護師自身が抱く役割期待 / キャリアビジョンが合致することが、特定看護師活用の第一歩です。特定看護師は組織から明示的役割を与えられることで、より活躍しやすくなります。

特定看護師の 活躍促進ステップ

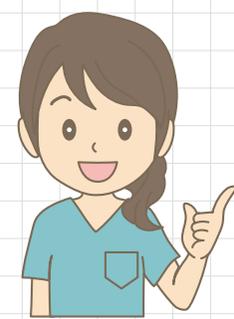
特定看護師は研修を修了しただけでは、活躍できません。そして、医師が活躍を期待するだけでは活躍場所は生まれません。特定看護師の活躍促進に向け、ご自身の施設が、どのステップにいるのか、ぜひ確認してみてください。



Start!!!



どのステップでも、特定行為研修修了看護師の周知活動を行いましょう！



特定看護師導入前

特定看護師導入後

引用：特定行為研修修了看護師の組織的・活用ガイド（一部改変して掲載）
URL：https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/201A2008-sonota.pdf（2024年11月14日アクセス）

引用：特定行為研修修了看護師の組織的・活用ガイド（一部改変して掲載）
URL：https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/201A2008-sonota.pdf（2024年11月14日アクセス）

特定行為のイメージ

シチュエーション

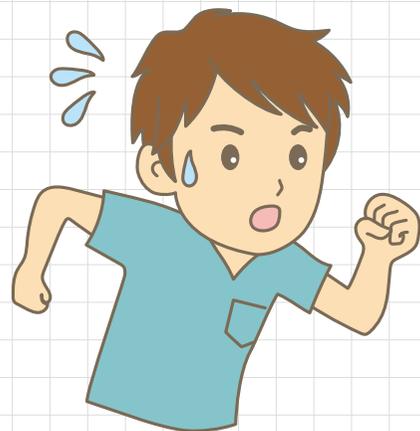
朝の回診後に、朝食が摂取できれば中心静脈（CV）カテーテルを抜去可となる患者さんが複数名存在。

しかし、緊急手術の必要な患者さんが救急車で数分以内に来院することに……!!

今日は特定行為研修(外科術後病棟管理領域パッケージ研修)を修了している特定看護師2名が日勤帯で勤務予定である。

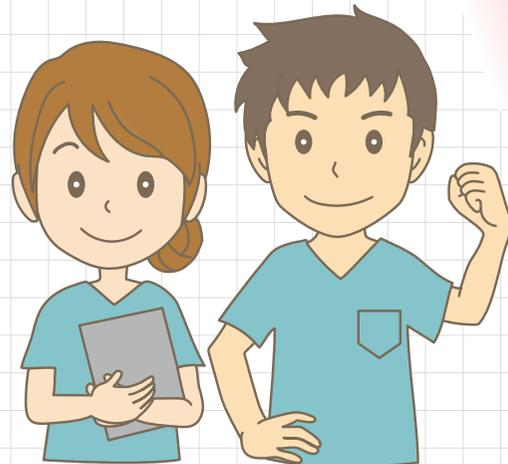
手順書に示された病状の範囲内

患者 AさんとBさんを診察後、手順書に基づき、CVカテーテル抜去の判断を特定看護師へ依頼



外科医 X

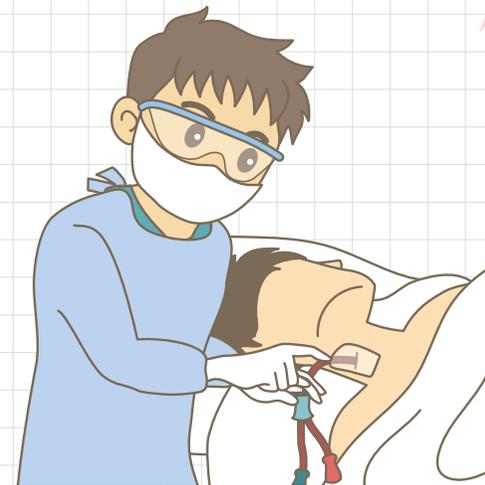
ERに急いでいかなくちゃ(汗) そうだ!
CVカテーテル抜去をお願いします!



特定看護師

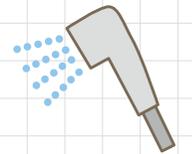
あらかじめ指示された手順書をもとにAさんとBさんの病状を判断し、特定看護師が特定行為を実施

手順書に沿って AさんのCVカテーテルを抜去

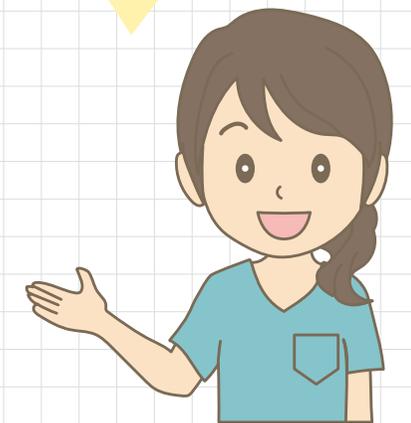


Bさんを観察したところ、朝食量が少量で嘔気もあるため、CVカテーテルは抜去せず、中心静脈栄養を継続したほうがよいと判断。その後、X医師へ電話で報告

Aさんの様子をX医師へ報告
X医師が病棟に戻る前にCVカテーテルは抜去され、Aさんは午前中のうちに全身のシャワーを浴びることができました



手順書に示された病状の範囲内であれば、特定看護師が手技を完了できます!



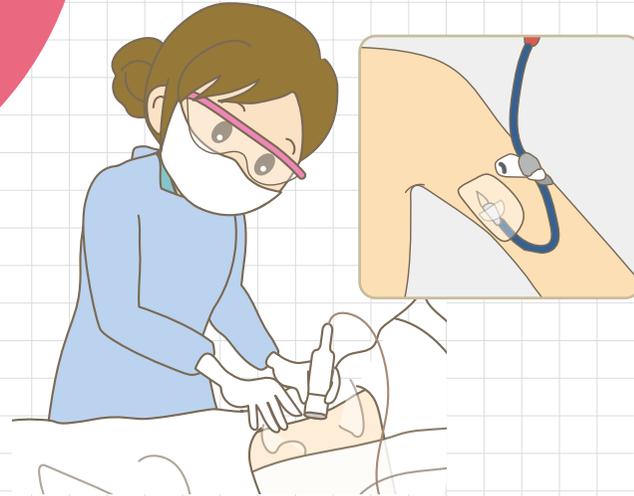
手順書に示された病状の範囲外

外科病棟での
特定行為

.....
消化器・乳腺外科編
.....

.....
代表的なものを集めました
.....

末梢留置型中心静脈注射用
カテーテル(PICC)の挿入

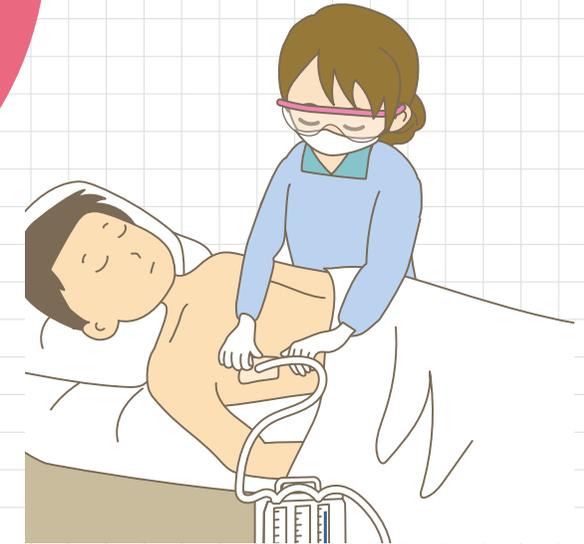


外科病棟での
特定行為

.....
心血管・呼吸器外科編
.....

.....
代表的なものを集めました
.....

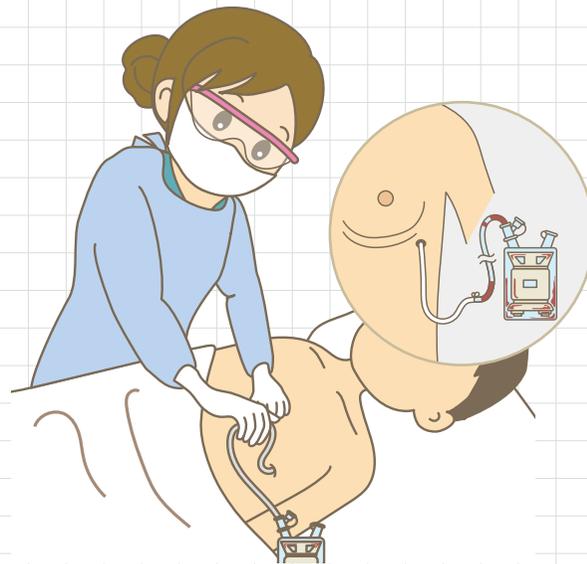
胸腔ドレーンの抜去



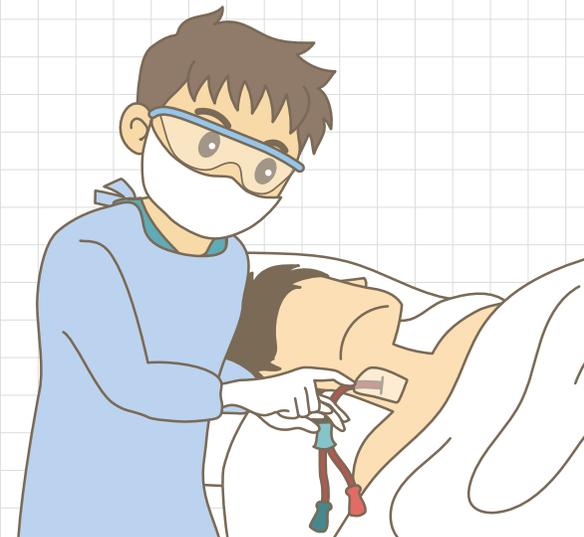
腹腔ドレーンの抜去



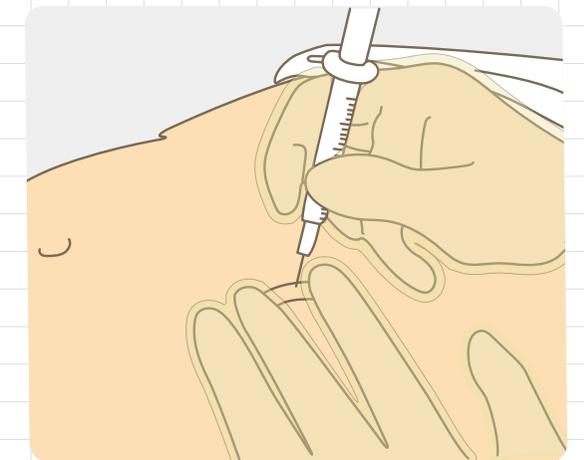
創部ドレーンの抜去



中心静脈カテーテルの抜去



直接動脈穿刺法による採血



この他、以下も外科術後病棟管理領域パッケージ・外科系基本領域パッケージ研修の対象となる特定行為となっています。

- 気管カニューレの交換
- 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
- 低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更
- 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
- 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
- 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
- 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
- 脱水症状に対する輸液による補正
- 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与

特定行為区分及び特定行為 (21区分38行為)

※特定行為研修省令別表第一

| 特定行為区分 | 特定行為 |
|---------------------------------------|--|
| 呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連 | 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 |
| 呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連 | 侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 |
| | 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 |
| 呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連 | 人工呼吸器からの離脱 |
| | 気管カニューレの交換 |
| 循環器関連 | 一時的ペースメーカーの操作及び管理 |
| | 一時的ペースメーカーリードの抜去 |
| | 経皮的心肺補助装置の操作及び管理 |
| | 大動脈内バルーンポンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整 |
| 心嚢ドレーン管理関連 | 心嚢ドレーンの抜去 |
| 胸腔ドレーン管理関連 | 低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更 |
| | 胸腔ドレーンの抜去 |
| 腹腔ドレーン管理関連 | 腹腔ドレーンの抜去 (腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。) |
| ろう孔管理関連 | 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 |
| | 膀胱ろうカテーテルの交換 |
| 栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連 | 中心静脈カテーテルの抜去 |
| 栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連 | 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 |
| 創傷管理関連 | 褥(じよく)瘡(そう)又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 |
| | 創傷に対する陰圧閉鎖療法 |
| 創部ドレーン管理関連 | 創部ドレーンの抜去 |
| 動脈血液ガス分析関連 | 直接動脈穿刺法による採血 |
| | 橈骨動脈ラインの確保 |
| 透析管理関連 | 急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理 |
| 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 |
| | 脱水症状に対する輸液による補正 |
| 感染に係る薬剤投与関連 | 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与 |
| 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | インスリンの投与量の調整 |
| 術後疼痛管理関連 | 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 |
| 循環動態に係る薬剤投与関連 | 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 |
| | 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 |
| | 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 |
| | 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 |
| | 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 |
| 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | 抗けいれん剤の臨時的投与 |
| | 抗精神病薬の臨時的投与 |
| | 抗不安薬の臨時的投与 |
| 皮膚損傷に係る薬剤投与関連 | 抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整 |

特定行為研修の一部を免除した研修: 領域別パッケージ研修



参考Webサイト

● 看護師の特定行為研修制度ポータルサイト

<https://portal.tokutei-nurse-council.or.jp/index.html>



● 特定行為に係る手順書例集

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000111457.html>



● 特定行為にかかる看護師の研修制度に関する Q&A

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000565100.pdf>



● 特定行為研修修了看護師の組織的配置・活用ガイド

https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/report_pdf/201A2008-sonota.pdf



● 日本外科学会

<https://www.jssoc.or.jp/>



● 日本クリティカルケア看護学会

<https://jaccn.jp/>



実例集 外科系病棟で輝く 特定看護師



本活用ガイドでは、特定行為研修修了看護師のことを「特定看護師」と表現していますが、あくまでも本活用ガイドにおける略語としての表現です。
なお、各医療機関の情報は2024年10月時点の情報となります。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006
大阪府大阪市中央区法円坂 2-1-14

●診療科: 脳神経内科/循環器内科/腎臓内科/呼吸器内科/消化器内科/感染症内科/血友病科/血液内科/糖尿病・内分泌内科/外科/消化器外科/肛門外科/呼吸器外科/乳腺外科/心臓血管外科/脳神経外科/整形外科/泌尿器科/総合診療科/産科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科頭頸部外科/小児科/皮膚科/精神科/形成外科/放射線診断科・放射線治療科/麻酔科/リハビリテーション科/口腔外科/臨床腫瘍科/緩和ケア内科
●病床数: 605床



Overview

特定看護師は日々医師や看護師と連携を取りながら活動中！
若手看護師のロールモデル化や、タスク・シフトの進展に期待。

■外科系の特定看護師について

配属・所属

当院では、特定行為研修指定研修機関において、外科系基本領域パッケージ+創傷管理関連の研修(特定行為区分の一つ)を修了した看護部所属の看護師が2名おり、消化器外科病棟と婦人科病棟に配属されています。

一方、特定行為研修修了者の養成を目的とする課程を有する大学院を修了した看護師は、診療部に所属して活動をしています。

給与・待遇

特定看護師へのインセンティブは特にありません。

業務・件数

看護部所属の特定看護師は、通常の看護業務を行います。認定看護師の資格も有する特定看護師は、病棟横断的に活動しています。

消化器外科病棟に所属している特定看護師は、所属病棟にて活動し、特定行為実施件数は2024年4月～8月の実績で、計58件です。

内訳はCVカテーテル抜去19件、ドレーン抜去

2件、直接動脈穿刺法による採血17件、脱水の補正1件、創傷に対する陰圧閉鎖療法6件、PICC挿入13件となっています。

スケジュール例

特定看護師としての活動日は、医師と一緒に回診を行い、その際にその日実施する行為の指示を受けています。

医師からの指示は、手術に入る前までに電子カルテ上の指示簿にも記載される場合がありますので、それをもとに必要な特定行為を実施しています。

また、月曜・水曜・金曜の午後には別途、放射線治療科の透視室でPICC挿入を実施しています。



Topic

医師から非常に高い評価！
タスク・シフトも順調に進む

当院では、診療部所属の特定看護師が2012年から活動しています。彼らは21区分38行為を実践するスキルを持ち合わせており、活動開始当初に実施した院内アンケートでは、すでに医師の満足度が非常に高く、医師の勤務時間が短縮する傾向が見えていました。

実際、医師が空いた時間にカルテ記載などを行うことも可能になっており、順調にタスク・シフトが進んでいると感じます。

教育的な役割も担い、
より良い医療環境を提供

特定看護師の活動については、病棟看護師からは「急ぎでない依頼を特定看護師に頼むことで業務がスムーズに進むようになった」、患者さんからも「常に病棟で勤務しているので、外科の先生の対応と比べて素早い対応で苦痛が解消し、とても良かった」といった声があがっています。また、特定看護師は特定行為の実践だけでなく、後輩の看護師たちと一緒に、患者さんの状態についてアセスメントし、病態についての考え方を伝えることで教育的な役割も果たしており、より良い医療の環境づくりに貢献しています。

Support

研修を施設として
強力にサポート

特定行為研修指定研修機関である当院では、院内・外を問わず特定行為研修生を受け入れています。

当院の看護師が特定行為研修を受ける場合は、受講料のサポートを受けられることもあります。また、病院の業務として研修を受講し、特定行為研修の修了を目指してもらいます。

Harmony

医師や看護師から
信頼を置かれる関係に

診療部所属の特定看護師がはじめて心臓血管外科に配属されたときは、その活動内容について知らない医師や看護師もいましたが、現在では院内に周知され、活動の理解も深まり、職員からの信頼も得られるようになってきました。

また、2024年度より、特定行為研修指定研修機関である当院で研修を修了した看護部所属の特定看護師も活動を始めており、医師、看護師、特定看護師が普段からコミュニケーションを密に取ることで、特定看護師が各部署でその実力をしっかり発揮することが期待されています。

For the future

医師と一緒に育てる特定看護師、研修医との連携も大切に

看護師の声 特定看護師の育成には看護部だけではなく、医師の協力も必要不可欠です。今後、一層の現場指導を行っていただけたらと考えています。

医師の声 特定行為の研修生と、臨床研修医の採用のどちらも積極的に行っているため、両者で実技症例を取り合うような状況も生まれています。共存・協働できる体制づくりが今後の課題です。



前橋赤十字病院

〒371-0811
群馬県前橋市朝倉町389-1

●診療科:内科(総合内科)/リウマチ・腎臓内科/血液内科/糖尿病・内分泌内科/感染症内科/精神科/脳神経内科/呼吸器内科/呼吸器外科/消化器内科/外科/乳腺・内分泌外科/心臓血管内科/心臓血管外科/小児科/産婦人科/整形外科/形成・美容外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻咽喉科/放射線診断科/麻酔科/リハビリテーション科/歯科口腔外科/救急科/病理診断科/臨床検査科/緩和支援医療科
●病床数:555床



Overview

現在、24名の特定行為研修修了者の活用体制を構築中！
ニーズの高いPICC挿入に特化して、週1回の「PICCデー」を実施。

■外科系の特定看護師について

配属・所属

特定行為研修修了者は24名。主にはICU、高度救命救急センター、救急外来に配属されています。いずれも看護部所属です。現状、外科領域のパッケージ研修修了者はいません。

しかし、特定看護師にはPICC挿入、CVカテーテル抜去、動脈血液ガス分析関連等、外科領域で使えるような特定行為の研修を修了した者が複数いるので、現在、その特定看護師の外科病棟での活用を考えている段階です。

給与・待遇

特定看護師へのインセンティブは特にありません。

業務・件数

いずれの特定看護師も、通常の看護業務を行っています。

一方で、院内で特定看護師の存在を広めていくために、クリティカルケア認定看護師の資格を有し、かつ特定行為研修も修了した1名が、週1回の「PICCデー」で活動し、外科病棟の医師のタスク・

シフト/シェアになるPICC挿入(約8件/月)を実施しています。

スケジュール例

週1回の「PICCデー」には、特定看護師は、事前に医師から依頼のあったPICC挿入を午後に実施しています。

午前中はその患者さんについての情報を収集するほか、特定看護師に特化した仕事をしてよい日でもあるため、特定行為に関する院内のシステム検討や関係資料の作成などの業務を行っています。



Topic

個人配布のスマートフォンで
手順書確認がスムーズに

必要時に手順書がすぐ見られるよう、当院では個人配布のスマートフォンで手順書を閲覧できるシステムを作りました。また医師と特定看護師とは、スマートフォンのチャット機能を使いながら密にコミュニケーションを取っています。具体的には、互いに電話が繋がらない際は、スマートフォンにダウンロードしてあるチャットツール^{*}にメッセージを入力しています。

※チャットツールの詳細が知りたい方は日本外科学会までお問い合わせください。

PICC挿入の依頼は
電子カルテの画面から

医師が電子カルテ上の画像検査のオーダーから、特定看護師によるPICC挿入を依頼できるように予約枠を設けました。

現在、1日2件までと制限をかけていますが、ニーズが高く、「PICC挿入予約が入力できないが、追加で入れてもらえないか?」とよく電話相談を受けるようになりました。

適宜、特定看護師の予定やPICC挿入の場所(X線透視室)の空き状況を踏まえ、ケースバイケースで予約枠を超えた依頼を受けています。

Support

特定行為研修の受講を
手厚くサポート

当院は特定行為研修の指定研修機関にもなっており、看護師が当院の特定行為研修を受ける場合、研修費用は原則的に全額免除、研修期間中も勤務扱いとなります。研修修了後も当院に長く勤めてもらいたいため、事前に面談を行う等、院内での研修受講者の選考ハードルは高くし、しっかり受講者を見定めることにしています。

Harmony

医師からも看護師からも
頼りにされる存在に

特定行為としては、以前行った院内アンケートでニーズの高かったPICC挿入に力を入れていますが、PICC挿入を不得意としていた診療科の医師から、非常に高い評価を受けています。当院ではこれまでPICC管理のルールや新しい方法が周知されていませんでしたが、それをきちんと整備することもできました。

また、研修修了者は一般の看護師が困ったときの窓口にもなっており、看護師たちに安心感を与えるという点でも大切な役割を担っています。

For the future

院内周知を上げ、協働システムの構築を

医師の声 「PICCデー」は一つの足がかり。今後、お揃いのスクラブを作るなどして広報に努め、その必要性を含めて院内で宣伝していきます。

看護師の声 まだ医師・看護師ともに院内周知が不十分。24名の修了者を活用できる協働システムの構築も不可欠ですが、そのシステムを整備する時間と人の確保も課題の一つです。



新東京病院

〒270-2232
千葉県松戸市和名ヶ谷 1271

●診療科:心臓血管外科/乳腺外科/呼吸器外科/消化器外科/整形外科/形成外科・美容外科/脳神経外科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/泌尿器科/皮膚科/救急科/リハビリテーション科/麻酔科/眼科/心療内科/内科/糖尿病内科/呼吸器内科/消化器内科/脳神経内科/放射線科
●病床:430床



Overview

特定看護師の数はさほど多くないものの、PICCチームの立ち上げ等、様々なアイデアを実施。研修修了看護師の活躍で円滑でタイムリーな医療現場に!

■外科系の特定看護師について

配属・所属

消化器外科(44床)の病棟に配属されている1名は現在、育児休暇(育休)中のため、その間は研修生を配属することで医師のタスク・シフトを継続しています。

またICU(15床)に1名、他に救急外来や手術室にも配置されています。全員が「診療看護部」に所属しており、そこから各科へ配属されるシステムです。

給与・待遇

当院の特定看護師は一般の看護師より基本給は高く、「診療看護手当」が付いています(1年目1万円、2年目3万円、3年目5万円)。けれども夜勤がなくなるため、実際には一般の看護師よりも給与が下がってしまうケースもあります。

業務・件数

基本的に病棟で特定行為以外のケアも行いますが、患者さんの受け持ちはなく、日勤のみの勤務です。

特定行為の実施件数はPICC挿入が月10件、動脈採血が5件、Aライン確保が4件ほど。PICC挿

入は消化器外科での実施が最も多く、消化器外科の特定看護師が院内全体のPICC挿入を任されるようになっていましたが、その看護師が育休に入るにあたって、その他の特定看護師たちが自主的にPICCチームを立ち上げ、現在、そのチームが診療科横断的にPICC挿入を行っています。



スケジュール例

医師が指示を出すタイミングは基本的に1日に3回。朝のカンファレンス後8時半頃、新規患者が入院してくる14時頃、夕方の回診後16時頃のタイミングです。

夕方の回診後の指示では、なるべく特定看護師の残業が発生しないようにと医師側も配慮していますが、手術が長引き、患者さんが手術室から戻ってくるのが遅かったりすると、特定看護師は患者さんの様子を見つつ、18時すぎまでは病棟に残ることもあります。

Topic

ローテーションの工夫で
円滑な現場を実現

専攻医のローテーション等、その時々で医師の人手が足りない診療科が変わるため、院内で調整の上、特定看護師のローテーションを行っています。現在、消化器外科では特定看護師1名が育休中ですが、育休を取得する時期は予定されていたので、3カ月単位で異動する研修中の特定看護師を、ちょうどよいタイミングで消化器外科に配属するようにして完全な欠員を回避し、現場が円滑にまわるよう、院内の調整に努めました。

早めの指示や情報共有で
特定行為を行いやすく

PICC挿入等の依頼は特定看護師がスケジュールを立てやすいよう、基本的には前日までに医師が指示をします。カンファレンスには特定看護師も参加し、患者さんの治療の方向性などに関する情報共有はしっかり行います。

電子カルテも特定看護師の記録はテンプレート化し、実施した特定行為にチェックを入れる形にすることで、作業の効率化を図っていますが、自由記入欄に特定看護師が記載する詳細情報も、実際の診療にとっても役立ちます。

Support

認定看護師の特定行為研修受講は
研修受講料を全額支給

現在、特定行為研修の受講をサポートする体制はありませんが、認定看護師が特定行為のパッケージ研修を受ける場合は受講料を全額支給しています。

Harmony

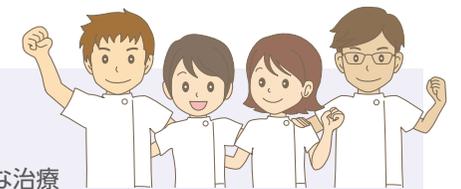
医師も看護師も研修医も
三方良しの関係を構築

当院では患者さんに変化があった場合、看護師がまず特定看護師に相談し、特定看護師が初期対応や手術中の医師への報告を行っています。当初、特定看護師が間に入ることで、医師と看護師とのコミュニケーションが希薄になるのではないかと懸念がありましたが、実際にそうした問題が生じるようなことは一切ありませんでした。医師側も、特定看護師の対応を咎めること等はしないようにしており、現在、とても良好な関係を築けています。また、PICC挿入では臨床研修医の手技トレーニングとのバッティングを心配する声もありますが、当院ではそのトレーニングに特定看護師に参加してもらうこともあり、特定看護師には現場の教育面でも一役買ってもらっています。

For the future

タイムリーな治療のための人員拡大を

医師の声 特定看護師に病棟業務を行ってもらうことでタイムリーな治療が可能になり、医師も手術に専念できています。外科医の心強いサポーターであり、信頼しているので、育休中の1名にも早く戻ってきてほしいぐらいです! 夜間や早朝の対応も特定看護師に担ってもらうためには、研修修了者の人員をもう少し拡充することが課題だと考えています。



聖マリアンナ医科大学病院

〒216-8511
神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

●診療科: 総合診療内科/呼吸器内科/循環器内科/消化器内科/腎臓・高血圧内科/代謝・内分泌内科/脳神経内科/血液内科/リウマチ・膠原病・アレルギー内科/腫瘍内科/神経精神科/小児科/新生児科/小児集中治療科/消化器・一般外科/心臓血管外科/呼吸器外科/小児外科/乳腺・内分泌外科/脳神経外科/整形外科/形成外科/皮膚科/泌尿器外科/産科・婦人科/眼科/耳鼻咽喉・頭頸部外科/放射線診断・IVR科/放射線治療科/麻酔科/病理診療科/救急科/リハビリテーション科/緩和ケア科
●病床数: 955床



Overview

PICCチームは毎日活動！ 特定看護師全員が21区分38行為の研修を修了し、年間約2万5千件もの特定行為を実施。

■外科系の特定看護師について

配属・所属

特定行為研修を修了している看護師が計34名おり、外科では消化器外科1名、乳腺外科1名、心臓血管外科3名、脳神経外科1名が配属されています。

特定行為研修を修了した看護師のうち、幅広い医学知識を学び、かつ特定行為研修を修了するための専門の大学院を修了した看護師(31名)は2024年8月に新設された診療看護師技術部、21区分38行為の研修を修了した看護師(3名)は看護部の所属となっています。

給与・待遇

診療看護師技術部所属の看護師には手当が付いています。当院で2年以上勤務した看護師には、「看護部内規:国内研修出張の取り扱い」に基づき大学院への進学をサポートする制度があります。

業務・件数

配属される診療科によって業務は異なりますが、一般の病棟看護師のように患者さんを受け持つのではなく、医師とともに働くことが多いです。

しかし、病棟で看護師と一緒にケアに入ったり、医師の代わりに患者さんへ検査の説明を行ったりと、医師と看護師の双方のタスク・シフト/シェアを心がけています。

特定行為の実施件数は2023年の実績で年間約2万5千件。ひと月あたり約2千件、1名あたりで約100件です。救命救急以外の診療科においては、休日や夜勤帯への研修修了者の配属を目指し、研修受講を促しています。



スケジュール例

特定看護師は、主に各診療科にて各患者さんの情報収集をして、医師との回診に臨みます。その後、医師から指示を受けています。

また、PICC挿入や腹水穿刺についての指示は、医師が適宜ケースバイケースで行っています。



Topic

毎日稼働のPICCチーム他、今や引っ張りだこに

現在、特定看護師によるPICCチームが毎日稼働。多いときは1日あたり4~5件のPICC挿入を行っています。研修修了者の受け入れ当初は医師側も手探り状態でしたが、人数が増えて院内周知が進み、以前は好意的でなかった診療科からも「うちにもPICC挿入ができる看護師を回してください!」と言われるほどです。

特定看護師が活動しやすいよう、新たな診療科や病棟に配属する場合は、配属先の看護師長たちに丁寧に説明するよう心がけています。

チャットツールを使って情報共有を素早く密に

セキュリティを強化したチャットツール*を使用し、院内のアカウントを所有する者だけで患者さんの情報を共有できるシステムを構築しました。情報の混乱がないよう、各診療科と各病棟間のスレッド**も立っています。電子カルテもテンプレート化し、行った特定行為にチェックを入れるだけで医師への報告書が作成できるよう工夫しています。

*チャットツールの詳細が知りたい方は日本外科学会までお問い合わせください。
**スレッド: 話題ごとに会話を整理する機能。同じテーマのやりとりを一つにまとめられる。

Support

特定行為研修中は学習に専念できる体制

大学に設置された「看護師特定行為研修センター」の研修の受講においては、1年間学習に専念するために出張扱いとしています。また研修費の半額・基本給・交通費などが、「特定行為研修費貸与規程」「国内研修出張の取扱い内規」に基づき支給されます。看護師が受講しやすい環境を整えました。通常業務を行いながら受講する方法もあるかもしれませんが、当院のポリシーは「行為一つであっても、すべてを学んだ上での一つの行為」という考え方。働きながら研修を受けるのではなく、しっかり学習に専念して特定行為を習得してもらう体制をとっています。

Harmony

特定看護師は若手看護師の指南役

病棟の若手の看護師は患者さんの異変に気づいても、自分の判断が正しいのか自信が持てず、すぐには医師に相談しにくいという気持ちがあるようです。当院ではそんなとき、まずは特定看護師に報告・相談できる環境があり、同じ看護師免許をもつ者同士相談しやすく、働きやすくなったという声があがっています。

For the future

まだまだ発展途上のタスク・シフト。サポート向上が鍵に

医師の声 医師のタスク・シフトという観点では、まだ圧倒的に特定看護師の人数は足りていないというのが課題。相当数の研修修了者が働いている当院でも、まだまだ発展途上な面は否めません。特定看護師の多様な働き方が認知され、さらに役割が拡大し、給与保障などが整うことで、ますます特定看護師を目指す看護師も増えると感じています。



戸塚共立第1病院

〒244-0003
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町116

●診療科:内科/外科/整形外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/病理診断科/消化器外科/呼吸器外科/形成外科/リハビリテーション科/麻酔科/放射線科/消化器内科/脳神経内科/脳神経外科/救急科/糖尿病内科/呼吸器内科/消化器センター
●病床数:146床



Overview

活動日は特定看護師のスキルアップデー。
特定看護師と消化器外科医が支え合い、安定した外科病棟管理を確立！

■外科系の特定看護師について

配属・所属

特定行為研修修了者のうち実働を担う看護師が6名、研修修了直後で修練中の看護師が7名在籍。消化器外科病棟を含む4つの病棟に各1~2名在籍し、特定行為を実施しています。特定看護師は全員看護部の所属です。

給与・待遇

特定行為研修を修了し、特定行為を実施する看護師には、月額手当として5千~2万円が付与されています。

業務・件数

特定看護師は、日頃は病棟で通常の看護業務も担っています。2021年頃から月2日ほど特定行為の活動日を設け、消化器外科病棟等でドレーン抜去やPICC挿入などの特定行為を集中的に実施する日としました。活動日には、その病棟の日勤帯看護師に加えて、特定看護師を追加で配置しています。具体例を挙げると、日勤で5名の看護師が勤務している場合は、その5名に加えて特定看護師を配置することになります。

特定行為の実施件数は看護師により個人差があるものの、少ない看護師で10件/月、多い看護師で70件/月ほど。経験値に応じて余力があれば、活動日以外にも特定行為を行うこともあります。

スケジュール例

【非活動日】

特定看護師は通常の看護業務をしながら、勤務している病棟で医師と協働しドレーンの抜去やCVカテーテル抜去等の実施をすることがあります。

【活動日】

8時に医師だけで患者さんのカンファレンス後、9時頃からの回診に特定看護師が合流し、消化器外科医とともに消化器外科の全患者を診察して10時半頃に終了します。その後、輸液の調整などの特定行為を行います。活動日はPICC挿入が集中する(~5件/日)ので、午前中から特定看護師がPICC挿入を実施することもあります。



Topic

医師にも特定看護師にも活動日はスペシャルデー

特定行為を実施する機会が増える活動日。PICC挿入は、医師にとって時間がとられ診療業務をひっ迫する原因でもあるので、この活動日に依頼が集中することがあります。

この活動日は、特定看護師が手技に集中しやすい日でもあり、そのスキル維持にも一役買っています。なお、18区分の研修を修了して院内認証を受けた特定看護師は活動日だけ専用のユニフォームを着て業務を行っています。



手順書関連の指示は電子カルテ上で前もって出す

消化器外科では、患者さんが入院した際に医師が電子カルテに特定行為の実施許可の指示を出します。これにより、患者さんに特定看護師が特定行為を実施する準備が完了します。

他科においては直接医師が特定看護師にPICC挿入等の依頼を行うことで特定行為を実施することが可能になります。

Support

希望すれば1年で研修を修了できる体制を構築

特定行為研修の受講希望は挙手制で、看護部長と相談の上受講者を決定。外科術後病棟管理領域パッケージに含まれる特定行為を網羅する18区分の研修を、普通の勤務を続けながら1年間で修了できるような指導・研修体制を構築済みです。

現在、特定看護師を各病棟に1~2名ずつ、ICUでは各勤務帯に1名を配置できるよう意欲的に養成に取り組んでいます。

Harmony

院長の深い理解の下、お互いに助け合う現場が実現

当院では院長が外科出身で、特定看護師に対する深い理解があります。また、特定看護師としての勤務歴が長い看護師による指導もあり、これまで特定看護師の業務にトラブルは生じていません。

医師側にも「仕事を減らしてもらっている」という感謝の気持ちが大切だと考え、特定看護師がいつでも医師に相談しやすい環境を整えています。

For the future

頼りになる特定看護師、一方で増える指導と管理の悩み

医師の声 特定看護師が増えて指導の幅が増え、今後は医療安全面の管理も課題ですが、特定看護師のいない環境は考えられません！

看護師の声 経歴の長い特定看護師が教育指導に費やす時間が増えています。研修受講希望者が毎年コンスタントに出るのはよいことと考えています。



日本医科大学武蔵小杉病院

〒211-8533
神奈川県川崎市中原区小杉町1-383

●診療科:総合診療科/救命救急科/循環器内科/呼吸器内科/腎臓内科/内分泌・糖尿病・動脈硬化内科/脳神経内科/リウマチ・膠原病内科/消化器内科/腫瘍内科/小児科/新生児科/皮膚科/放射線科/放射線治療科/精神科/健康管理科/口腔科(周術期)/リハビリテーション科/消化器外科/心臓血管外科/呼吸器外科/乳腺外科/内分泌外科/整形外科/眼科/女性診療科・産科/耳鼻咽喉科/泌尿器科/麻酔科/緩和ケア科/脳神経外科/形成外科/小児外科/病理診断科
●病床数:372床



Overview

ベテランも多い特定看護師。診療科にかかわらず縦横無尽に活動し、人間性を大切にしたい関係づくりで良い方向へ循環する現場に！

■外科系の特定看護師について

配属・所属

当院には現在、特定看護師が28名います。配属は消化器外科病棟に2名、ICUに4名、心臓血管外科病棟に2名、脳神経外科病棟に2名、救命救急センターに4名で、各自が修了した特定行為を実施しています。所属は、全員看護部です。

給与・待遇

特定看護師には区分に関係なく3千円の手当が支給されています。一部、「診療看護師手当」の5千円が付く看護師もいます。

業務・件数

特定看護師も患者さんを受け持ち、通常の看護師業務を行いながら必要時に特定行為を実施する体制です。時には夜勤を担当する場合もあります。現在は全員が看護部の所属ですが、今後、さらに人数が増えてくれば、特定看護師を取りまとめる何らかの部署が必要になってくるのではないかと考えています。

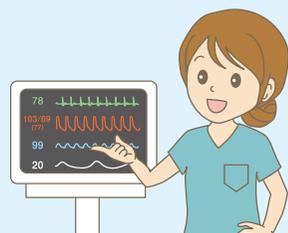
特定行為の実施件数は、2024年4月～7月の3カ月間で、CVカテーテル抜去がひと月あたり平

均25件、褥瘡・創部のデブリードメントや陰圧閉鎖療法等の創傷管理関連が平均4件、血液ガス採取が平均10件、人工呼吸器からの離脱が平均2件、気管カニューレの交換が平均3件です。

スケジュール例

特定行為に関しては少し特殊なシフトを組んでおり、週1回日勤での活動日を設けて実施しています。当日は、例えば心臓外科の特定看護師であれば、朝のチームカンファレンスで計画を立てて医師からの依頼を受けます。

午前中に患者の状態把握、血液検査の結果確認、薬剤調整等を行い、午後、医師が手術から戻ってきた際のミーティングで報告。その後、抜管等を実施していきます。ICUでも朝の回診後に医師から指示を受け動いています。また、診療科に関係なく実施できる特定行為があれば縦横無尽に活動を行っています。



Topic

ベテランの特定看護師が人材育成や啓発活動も担う

当院には、特定行為研修修了者による活動開始から10年以上の歴史があります。長年の経験を積んでいる特定看護師も数多く、幅広い領域で質の高い特定行為の実施が可能です。現場では、こうした経験豊富な特定看護師が司令塔のようになり、まだ研修修了後間もないような若手の特定看護師に指導を行っています。例えばICUにいるベテランの特定看護師が病棟の特定看護師へ「患者さんがICUを退室して外科病棟に到着次第、CVカテーテルをあなたが抜去して先生へ報告するように」等伝達することがあり、実際の特定行為の実施を若手に任せることで、教育面でも意義のある役割を果たしています。こうした取り組みは、若手の特定看護師の育成に一役買うばかりでなく、医師たちが自身の診療科に属する特定看護師に対する認知や理解を深めることにも役立っています。

人間性を大切にしたい相談しやすい環境づくり

看護師にとって資格やスキルは大切ですが、それよりもっと大事にしなければならないのは人間性だと思います。常日頃、特定看護師には「天狗になることなく、誰からも相談しやすい存在にならなければいけない」という指導を行っています。また医師も、どんな立場の医療従事者であってもきちんとした態度で接することに心を配り、全員がお互いにコミュニケーションを取りやすい環境づくりを心がけています。

Support

受講のサポート他、研修修了後のフォローも

2023年度までは受講料が全額免除でしたが、今年から個人負担が1万円となりました。研修はすべて、本人の公休日や有給休暇を使って受講してもらう体制を取っています。また、特定行為のレベルアップのためには、研修修了後のフォローアップも大切です。まだこれについては当院での課題の一つでもあります。今後、特定看護師全員での症例検討会等の学びの場の設定も検討予定です。

Harmony

特定行為研修修了者が現場を動かす良い潤滑油に

例えば当院の心臓外科では、医師全員が手術に入ってしまう日が多々あります。医師が朝10時～夕方4時頃まで病棟業務ができない中、特定看護師がその一部を担ってくれることで医師は大いに助けられています。また一般の看護師にとっても、特定看護師が午前中からある程度、病棟業務を完了してくれるので、日勤帯終了間際に手術を終えた医師による指示で業務が激増するといったことがなくなりました。特定看護師がいることで労働環境が改善し、現場が良い方向へ回るようになってきたと実感しています。

For the future

院内の認知度をさらに上げ、特定看護師の活躍の場を拡大したい

- 看護師の声** まだ特定看護師を活用できていない診療科もあり、認知度を上げる取り組みが不可欠。また、医師のタスクシフトを叶えるには、各勤務帯に特定看護師を1名配置する必要があり、人材育成も課題です。
- 医師の声** 課題は院内周知。特定看護師の人数が増えてスキルレベルも上がっていますが、実際に一緒に働いてもらわないとその素晴らしさが理解されないと思います。

関西医科大学附属病院

〒573-1191
大阪府枚方市新町 2-3-1

●診療科：血液腫瘍内科/呼吸器・感染症内科/リウマチ・膠原病科/呼吸器腫瘍内科/循環器内科/腎臓内科/内分泌内科/糖尿病科/消化器肝臓内科/心療内科/総合診療科/脳神経内科/精神神経科/小児科/上部消化器外科/下部消化器外科/肝臓外科/胆膵外科/小児外科/乳腺外科/心臓血管外科/血管外科/呼吸器外科/脳神経外科/小児脳神経外科/整形外科/形成外科/皮膚科/腎泌尿器外科/眼科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/放射線科/産婦人科/麻酔科/病理診断科/救急医学科/健康科学科/臨床腫瘍科/リハビリテーション科/歯科・口腔外科/臨床検査医学科
●病床数：797床



Overview

多数の特定看護師を育成し、消化器外科では全シフトに特定看護師の配置を実施！ 院内に積極的な議論の場を設け、活用拡大に努める。

■外科系の特定看護師について

配属・所属

当院には106名の特定看護師が在籍し、看護部に所属しています。配属先で最も多いのは救急ICU(15名)ですが、外科系では消化器外科病棟(11名)、次いで脳神経外科病棟、循環器外科病棟(各5名)、整形外科病棟(4名)、泌尿器外科病棟(2名)となっています。

給与・待遇

給与のインセンティブはありません。特定行為の実施件数は診療科や部署の特性によって機会が異なり、個人差があるため、インセンティブについては慎重に協議していく必要があると考えています。

業務・件数

病棟の特定看護師は通常の看護業務を行いながら、必要時に特定行為を実施しています。現在、消化器外科病棟では、全シフトに特定看護師を配置できるまでになりました。大抵は1シフトに2名の特定看護師が勤務しています。

消化器外科病棟での実施件数は月平均にする

と1名あたり4~5件ですが、個人差が非常に大きいのが現状です。



特定看護師のうち、毎日日勤で勤務し、患者さんを受け持っていない副師長の場合で年間200件・週17件といったケースがある一方、余力がなく特定行為が実施できていない特定看護師もいます。最も多い特定行為はCVカテーテル抜去、次いで動脈採血、ドレーン抜去となっています。

スケジュール例

朝の回診の後、医師は特定行為の指示を出します。その後、特定看護師は日常業務の中で各特定行為を実施していきます。

特定看護師の中でも、患者さんを受け持たない副師長は随時、特定行為を実施します。

外科系の病棟では特定行為の大半は日勤帯での実施であり、早朝に医師が指示を出した場合は、夜勤の特定看護師が日勤の特定看護師へその指示を申し送ることもあります。

Topic

特定行為業務管理委員会で活動体制等を熱心に議論

当院では副病院長を委員長とし、「特定行為業務管理委員会」を設立しました。メンバーは特定看護師や、特定看護師の活用にも積極的な35~45歳の医師たちが中心です。特定行為にまつわるインシデントから特定看護師を守り、院内で特定看護師が活躍しやすくするための仕組み等を本委員会で話し合っています。

当初から特定行為の手順書も委員会で作成しており、手順書は様々なケースに合わせた補足説明を充実させ、随時使いやすく改訂しています。

キャリアアップを支援する研修修了後の3者ミーティング

特定看護師として現場で活躍してもらうためには、研修修了後のサポートも欠かせません。当院では毎年1回、特定行為研修を修了したばかりの特定看護師にも参加してもらい部署単位で3者ミーティングを実施しています。診療科医師・部署の看護管理者と特定看護師本人が、この1年間で何をどれだけできるようになってもらいたいかなどを話し合い、特定看護師がきちんと目標を持って段階的に自律した実践ができるよう支援しています。

Support

臨機応変な受講体制と多彩な研修コース

当院では独自のコースを設け研修を行っています。「重症管理コース(6区分15行為)」「病棟基本コース(3区分5行為)」「在宅基本コース(2区分13行為)」「術中麻酔管理領域パッケージ」の4種があり、そこに「ドレーン管理」「血糖管理」のオプションを付けることが可能です。これにより、本当に病棟で必要となる特定行為の実施者を増やすという戦略です。毎年見直しを行い、臨床のニーズに合わせて特定看護師を育成しています。

Harmony

特定看護師の活躍ぶりをもっと宣伝したい！ という声も

特定看護師の活動に関する院内アンケートでは、実際に医師業務の軽減ができていているという声が年々増え、中には「宣伝したくなるほど助かっている」と言う医師もいるほどです。また、医師が行う処置は、どうしても医師のスケジュールに左右されがちですが、特定看護師が処置を行う場合は、患者さんのスケジュールに配慮したタイミングで処置を行うので、患者さんは心の準備もでき、ストレスが軽減され、より良い医療につながっていると考えています。

For the future

医師への周知や特定行為の質の担保に尽力

看護師の声 安心安全な医療の実現には、医師による特定看護師への理解が欠かせませんが、大学病院は医師の異動が多いため、その周知を継続的に行う不断の努力が求められます。また、特定看護師の人数が増えるにつれ、特定看護師の質の向上に一層、注力する必要があると感じています。



市立貝塚病院

〒597-0015
大阪府貝塚市堀 3-10-20

- 診療科：内科／消化器内科／神経内科／小児科／外科・消化器外科／乳腺外科／整形外科／麻酔科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／放射線科／形成外科／緩和ケア内科／総合診療科
- 病床数：249床



Overview

特定看護師の活躍は始まったばかり。
少ない人数でもPICC挿入を武器に特定看護師が横断的・効率的に活動！

■外科系の特定看護師について

配属・所属

当院の特定看護師は3名。所属は看護部で、泌尿器科病棟（1名）、外来化学療法室（1名）、手術室（1名）へそれぞれ配置されています。

その他に2024年9月時点で、特定行為研修中の看護師が1名います。

今後は新設のHCUで活動できる特定看護師を中心に人員を増やしていく予定です。

給与・待遇

現在、手当等はありませんが、今後、特定看護師の人数を増やすためにも検討の必要があると考えています。

業務・件数

特定看護師は通常の看護師業務を担いながら、必要時に特定行為を実施しています。例えば泌尿器科病棟の1名はリーダー業務を行う際を除き、日頃は患者さんを受け持っていますが、PICC挿入等の依頼が入れば、その活動にあたります。

特定行為の実施件数としては、ひと月あたり平均3件で、メインはPICC挿入です。

現在、PICC挿入に関しては臨床研修医と特定看護師がともにチームで実施していく環境ができあがっています。

指導医が特定看護師と臨床研修医を同時に指導しています。

スケジュール例

当院では特定行為が緊急で発生することはほぼありません。

基本的に前日までに医師がオーダリングシステム上で予約・指示を入れ、それに合わせて特定看護師が実施していきます。

事前にスケジュールを組むことで特定看護師が活動しやすい体制を整えています。



Topic

外来予約のように特定行為予約枠を設定し横断的な活動を実施

以前は、特定行為が必要な場合に特定看護師へ個別に連絡があり、随時、対応していく体制でしたが、特定看護師のスケジュールによっては依頼に応えられないケースも多かったため、見直しを図りました。

現在は、電子カルテの外来予約システムを応用して、医師が特定看護師によるPICC挿入の実施予約を電子カルテ上でできるようにしました。これにより、特定看護師が少なくても、スケジュールを調整しやすくなり、効率的な活動を実施できる体制が整いました。

研修医と看護師の協働が様々な相乗効果を生む

当院では副院長が、特定看護師と臨床研修医それぞれの管理委員長を兼任していることもあり、研修医の実習の場に看護師を参加させています。

特定行為研修中の看護師であれば、手技と一緒にトレーニングできますし、一般の看護師であれば実際に手技を見てもらうことで特定行為への関心が高まり、研修の受講へつながるきっかけとなります。

Support

希望者が受講しやすい研修サポート制度

看護部では年1回の面談で看護師たちのキャリア意向を聞き取り、希望者に特定行為研修を受講してもらっています。研修の受講料は病院が全額負担し、eラーニングは週1日、実習は全日が勤務扱いとなります。

研修生には「せっかく研修を修了したならば長く活動してほしい」といった話をすることはありますが、研修修了後の勤務年数等の条件はありません。

Harmony

医師の細やかな気配りで不満や不安のない環境に

特定看護師は通常業務を一時的に抜けて特定行為を実施しているため、現場で働く他の看護師たちから不満の声があがらないように、特定行為実施日を医師から看護師へお知らせする等の配慮が大切です。

また、特定看護師たちが侵襲的な手技へのストレスを減らせるよう、医師は日々の特定行為の実施を任せきりにはせず、常に気配りをしています。

For the future

より密な連携でスキルアップや人員拡大に注力

医師の声 特定看護師がスキルアップできるよう、困難症例での特定看護師への医師のサポート体制と、各特定看護師の手技レベルの評価方法が今後の課題です。

看護師の声 特定看護師がどんな手技ができるのか等、認知不十分の医師もいるため、特定看護師のメリットを示しつつ、院内での周知活動をすることが重要だと思っています。



徳島大学病院

〒770-8503
徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1

●診療科：循環器内科／呼吸器・膠原病内科／消化器内科／腎臓内科／内分泌・代謝内科／血液内科／脳神経内科／心臓血管外科／食道・乳腺甲状腺外科／呼吸器外科／泌尿器科／消化器・移植外科／小児外科／小児内視鏡外科／眼科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／整形外科／皮膚科／形成外科・美容外科／脳神経外科／麻酔科／精神科・心身症科／小児科／産婦人科／放射線診断科／放射線治療科／救急集中治療科／病理診断科／むし歯科／歯周病科／そしゃく科／かみあわせ補綴科／歯科放射線科／矯正歯科／小児歯科／口腔内科／口腔外科／歯科麻酔科

●病床数：692床



Overview

特定看護師が夜間帯も活躍！電子カルテの工夫や症例検討の実施で、スムーズかつコミュニケーションの取れた現場を実現。

■外科系の特定看護師について

配属・所属

現在、当院の特定行為研修修了者は17名で、そのうち、15名が病院長から特定行為実施許可を受けています。外科系基本領域パッケージ研修を修了した者は2名おり、消化器・移植外科（1名）、食道・乳腺甲状腺外科／呼吸器外科病棟（1名）に配属されています。特定看護師は全員、看護部に所属しています。

給与・待遇

特定看護師には現時点で金銭的インセンティブはありません。以前から議題に上がっており、現在、何らかの勤務手当として支給できないか検討を進めています。

業務・件数

特定看護師は、他の看護師と同様に患者さんを受け持ちながらの看護業務やリーダー業務を行い、その上で特定行為を実践しています。

特定行為の実施件数（2023年度）は、消化器・移植外科では年間112件、食道・乳腺甲状腺外科／呼吸器外科では年間164件で、1カ月あたり

平均23.0件です。内訳は、最も多いのが直接動脈穿刺法による採血で99件、次いで腹腔ドレーン抜去89件、胸腔ドレーンの抜去52件となっています。

スケジュール例

食道・乳腺甲状腺外科／呼吸器外科病棟では、医師の朝のカンファレンス・回診後に、手順書が発行されることが多く、特定看護師は勤務の最初に手順書の確認、医師との情報共有などを行います。午前中に、胸腔ドレーンや創部ドレーンの抜去を実施します。

午後は、各種カンファレンスの後、14時頃から入院患者や救急患者への対応、術前の動脈採血などを行います。また、感染徴候がある患者さんには、夜勤帯での対応が多くなっています。



Topic

2023年度は年5回開催！ 症例検討でスキルアップ

特定看護師のスキルアップや情報共有を目的として、特定看護師会の中で症例検討を実施しています。2023年度は5回開催し、全21症例のうち7症例で診療科の医師とともに検討を行いました。

医師との症例検討は、医師と看護師がお互いに尊重し合いながら理解を深められるだけでなく、特定看護師の臨床判断能力向上やモチベーションアップにも貢献しています。

電子カルテのシステムを 調整して特定看護師の記録を スムーズに確認

当院の電子カルテの画面表示は、全科カルテ・診療科カルテ・看護部カルテの3種に分かれており、医師画面の初期設定は診療科カルテです。

看護記録は通常、医師が全科カルテに切り替えないと閲覧できませんが、特定看護師が特定看護師IDでログインすることで、診療科カルテに記録を残し、医師がカルテ画面を切り替えることなく、特定行為の実施記録を確認できる仕組みになっています。

Support

確実な学びに向けた きめ細かな支援

徳島県看護職キャリアアップ支援事業補助金を一部活用し、特定行為研修の受講料は、研修生に全額支給されます。集合研修がある場合は勤務扱いとなり、eラーニングも勤務時間内に一部視聴することが許可されています。さらに、特定行為研修センター専任看護師と指導医が、課題レポート等の学習支援も行うことで、研修生が確実に学習を進められる体制を整えています。ただし、研修修了後、5年以内に退職した場合は、受講料を返済する取り決めがあります。

Harmony

医師との連携プレーで 夜間も迅速な対応が可能に

医師からは、特に夜間帯において、特定看護師と連携することにより迅速な対応が可能になったという声が寄せられています。

また、患者さんの症状対応では看護師は特定看護師へ報告を上げる体制が取られており、医師への報告に対する心理的な負担が軽減されています。患者さんからも、「特定看護師にやってもらえると痛くない」「事前説明や事後のフォローが丁寧」といった評価をいただいています。

For the future

今後は、一層のスキルアップや増員を目指す

看護師の声 いくつかの課題はありますが、現在、特定看護師を病棟に24時間配置するための増員を目指しています。特定看護師として患者ケアの質を向上させるためには、タスク・シフト/シェアを通じた業務の効率化により、医師との協働を深めていくことが重要だと思います。医師と看護師双方に特定看護師のメリットを実感してもらい、より多くの人材育成につなげていきたいと考えています。



大分県立病院

〒870-8511
大分県大分市豊饒2-8-1

●診療科:循環器内科/内分泌・代謝内科/消化器内科/肝胆膵内科/腎臓内科/膠原病・リウマチ内科/呼吸器内科/呼吸器腫瘍内科/血液内科/脳神経内科/精神科/外科(消化器)/外科(乳腺)/整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/心臓血管外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻咽喉科/歯科口腔外科/小児科/新生児科/小児外科/婦人科/産科/放射線科/リハビリテーション科/内視鏡科/臨床検査科/麻酔科/救急科
●病床数:557床



Overview

特定看護師による活動が患者さんにも大好評！
特定行為研修の受講サポートを徹底し、受講者数の拡大を目指す。

■外科系の特定看護師について

配属・所属

外科術後病棟管理領域パッケージの研修修了者が合計12名おり、外科系病棟に6名、救命センターに1名、ICUに2名、内科系病棟に3名が配属されています。現時点での所属は看護部ですが、今後、組織横断的に活動できる体制を検討していきたいと考えています。

給与・待遇

インセンティブは設けておらず、給与体系に差はありません。ただし、実際は「もう少しインセンティブがあればもっと頑張れるのに」という声もあります。

業務・件数

病棟では、特定看護師も複数の患者さんを受け持って通常の看護業務を担い、並行して特定行為を実施しています。例えば、患者さん9~10名を担当し看護業務を行う日があったり、リーダー業務・師長(代理)業務を行いながら特定行為を実施する日もあります。

実施件数はトレーニングを含み、ひと月あたり

平均30件です。乳腺外科では主に創部ドレーン抜去、婦人科では創部ドレーンと腹腔ドレーン抜去、消化器外科・泌尿器科ではCVカテーテル抜去や腹腔ドレーン抜去、動脈採血の実施件数が多くなっています。特定行為はICUや救命救急よりも一般病棟での実施が多いです。

スケジュール例

医師からの指示は主に平日8時半~17時。午前中のカンファレンスや回診の後の指示が最も多いですが、特定行為の内容によってもタイミングが異なります。

【前日・当日朝】

CVカテーテル抜去、気管カニューレ交換、創部ドレーン・腹腔ドレーン抜去、腹水穿刺チューブ抜去等

【必要時】

動脈採血、鎮痛剤投与量調節等



Topic

特定看護師が活動しやすい関係づくりに注力

医師は特定看護師がいつでも相談をしやすくなるよう配慮しています。例えば特定看護師が自身では実施不可と判断した特定行為のバックアップを医師に依頼したときは、必ず快く対応します。また、医師から患者さんへ説明を行う際には、特定行為を特定看護師が実施する旨を説明しておいたり、研修指導医として手技のトレーニングに協力したり、特定看護師への声かけをなるべく頻繁に行ったりと、活動が円滑に進むような関係づくりに注力しています。

手順書の工夫や院内周知で活動しやすく

手順書は電子カルテ上にテンプレート化。当院は某社の電子カルテ*ですが、「お気に入り登録」されたテンプレートを「展開」して、患者さんごとに電子カルテフォーマットの必要箇所だけを修正するスタイルです。実施頻度の高い特定行為の実施記録も、「セット登録」と「展開」機能でスムーズに入力できるようにしました。院内では医師やスタッフ向けに、特定看護師の氏名や実施できる特定行為等を記載したポスターを掲出。また、本人の名札にも、実施可能な特定行為を記載して周知に努めています。

*電子カルテの詳細が知りたい方は日本外科学会までお問い合わせください。

Support

徹底したサポート体制で研修受講をバックアップ

当院では看護師が特定行為研修を受講しやすくなるよう、徹底したサポート体制を整えました。eラーニングに取り組みやすい環境を整備し、研修受講料は全額免除、研修はeラーニングも含め、勤務扱いとなる他、先輩の特定看護師による研修生のサポートも行っています。また、研修生以外の看護師にもeラーニング受講の機会を与え、より多くの人材育成を目指しています。すでに学習済みの科目については、実際の特定行為研修時に履修免除となるのもメリットです。

Harmony

特定看護師の活動は患者さんからも高く評価

患者さんからも特定看護師は好評です。「チューブやドレーンの抜去は特定看護師に行ってもらったほうが痛みも少なく、その後も何度も様子を見に来てくれたりするので安心」という声をよくいただきます。また、医師からは「外来診療を中断しなくてよいから助かる」「空き時間を他の業務に充てることができる」等の声、病棟の一般の看護師からも「医師を待たずに実施でき、他の看護業務との調整がしやすい」といった声があがっています。

For the future

軌道に乗った今、目指すはさらなる人材育成

医師の声 特定看護師は病棟に1~2名配置されているだけの現状なので、特定看護師の負担は大きく、業務量や労働時間について今後、改善や対策を考える必要があります。

看護師の声 外科術後病棟管理領域パッケージ研修を修了した特定看護師の活動が軌道に乗ってきたので、2024年からは術中麻酔管理領域パッケージ研修にも手を伸ばすことにしました。その分、研修生の人数制限があるため外科術後病棟管理領域パッケージ研修の受講看護師の増員が難しく、この点は課題です。



熊本大学病院

〒860-8556
熊本県熊本市中央区本荘1-1-1

●診療科:呼吸器内科/消化器内科/血液内科/膠原病内科/腎臓内科/糖尿病・代謝・内分泌内科/循環器内科/脳神経内科/総合診療科/心臓血管外科/呼吸器外科/消化器外科/乳腺・内分泌外科/小児外科/移植外科/泌尿器科/婦人科/小児科/産科/整形外科/皮膚科/形成外科/眼科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/歯科口腔外科/画像診断・治療科/放射線治療科/神経精神科/脳神経外科/麻酔科・緩和ケア
●病床数: 845床



Overview

毎週水曜日は「PICCの日」。お揃いのスクラブやSNSでの広報で、院内アピールも頑張っています！

■外科系の特定看護師について

配属・所属

当院では特定行為の発生しやすい部署を中心に、特定看護師を配置しています。

特に消化器外科とICUに配置を集中しています(現在各4名)。まだ全勤務帯に特定看護師が勤務しているようなシフトは組めませんが、なるべく特定看護師が存在している日が多くなるようにシフトの調整をしています。所属は全員、看護部です。

給与・待遇

研修を修了している特定行為によらず、特定看護師には2年目から月5千円の手当が付きます。

業務・件数

特定看護師は、特定行為の活動以外に他の看護師たちと同じ看護業務を行っています。自部署で特定行為が発生した場合は、自分の受け持ち患者さん以外でも特定行為を実施します。

ICUに配属されている特定看護師は、夜間帯に勤務していると、夜間に指示を受けて特定行為を実施するケースもあります。

当院での特定行為の実施件数は、2024年4~8月で合計316件です。ただし、各人の実施件数には個人差があります。特定行為は主にPICC挿入であり、次にCVカテーテルの抜去が続きます。

多くのPICC挿入の依頼に応えるべく、当院では毎週水曜を「PICCの日」としました。

この日は当番の特定看護師(2名程度)が全病棟の患者さんを対象にPICC挿入を実施します。今までの1日あたりの実施件数は最大10件で、日々カテーテル挿入スキルが上達しています。

スケジュール例

通常の看護業務を行いながら、ドレーン抜去の場合は医師の午前8時頃の回診後に指示が出ます。

PICC挿入については患者さんの入院時や必要に応じて、「PICCの日」や別途指定された日に医師が指示をします。



Topic

使いやすく安全性の高い オーダーリングシステムを構築

特定行為のオーダー(指示出し)は、基本的に電子カルテ上で行います。ショート動画を制作し、オーダー方法を医師にわかりやすく周知したのは効果的でした。医師のオーダー自体もスムーズにするため、入力項目はなるべく減らしましたが、特定行為の実施にあたっての患者さんのリスク(例:抗凝固薬内服中など)は必須入力項目とし、伝え忘れがないよう、安全面には最大限考慮をしています。また、PICC挿入や腹腔ドレーン抜去等、実施件数の多いものは電子カルテに定型フォーマットを用意。これによって医師側も特定行為の記録を探しやすくなりました。

お揃いのスクラブや SNSで広報も

特定看護師には専用のスクラブがあり、日頃からそれを着用しています。宣伝効果を上げるためにデザインにはこだわっており、「これを着たいから特定行為研修を受けよう!」と他の看護師たちに思ってもらいたいと考えています。また特定看護師が頑張っている姿をSNSでも発信し、院内の広報活動を積極的に行っています。

Support

一人一人に寄り添った 柔軟な研修支援体制

特定行為研修の受講料は、病院が負担します。研修のうち実習期間(週3回)は日勤扱いですがeラーニングはすべてを勤務扱いにすることが難しく、自身の時間で実施する体制です。また、学習の進行具合によっては個別で研修日を設定する等の相談は可能で、研修修了後の必須勤務年数等についての条件はありません。

Harmony

医師が管理責任者となり、医師と 看護師でWin-Winの環境を実現

当院では、特定看護師による特定行為の管理を医師が担っており、年に3回、管理責任者の医師と特定看護師が集い、連絡会を開催し、特定行為実施の上での悩み等を話し合っています。当院の特定看護師は他の看護師から尊敬され、医師からも頼りにされる存在です。

看護師たちも何かあればすぐ特定看護師に相談するなど、業務がスムーズに運ぶようになり、医師・看護師ともに全員がWin-Winとなる環境を実現できています。

For the future

様々なハードルがある中で、真のタスク・シフトを目指す

- 医師の声** 現在、全病棟へ特定看護師の配置を広げてはいないので、特定看護師の活動場所は限られています。協働という点では「特定看護師を活用する」ことへの医師側の興味・関心の低さも課題です。真のタスク・シフトはまだまだこれからです。
- 看護師の声** 大学病院は医師の人事異動が激しく、毎年4月は特定看護師の周知に時間がかかります。4月でも特定看護師が多くの活動ができるよう、効果的な周知策など常に考えを巡らせています。



特定行為研修 Q & A



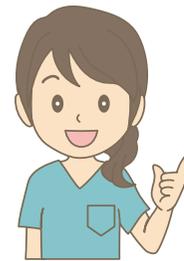
Q&A

Q.1 特定行為研修を修了した看護師は、
処方や死亡の診断はできるのでしょうか？



A.1 処方や死亡の診断は、診療の補助に該当しないため、特定行為研修を修了したか否かにかかわらず、看護師は行うことができません。

Q.2 手順書に基づき特定行為を実施した際の医療事故に係る
医師や看護師の法的責任はどのようなのでしょうか？



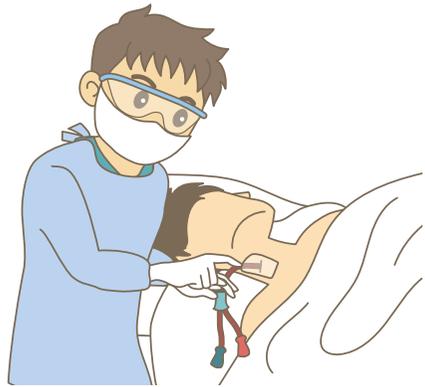
A.2 特定行為の実施により医療事故が発生した場合における責任の問題は、最終的には個別の事例に応じて司法判断により決められるものであり、個別具体的な状況における過失の有無に応じて責任が判断されることになると考えられます。

Q.3 ずばり、外科病棟で医師の業務負担を減らすのに
最も効果があると思われる特定行為は何ですか？



A.3 本活用ガイド掲載医療機関の取材では、手技自体の時間が数分では終わらない「PICCの挿入」が、外科病棟だけでなく、内科病棟においても医師業務の負担軽減に大きく効果があるという声が多く聞かれました。次いで、「CVカテーテル抜去」や「動脈採血」も効果があるようです。

Q.4 特定看護師に「何を頼んだらよいかわからない」という医師は多く、特定行為を看護師が行うことについて、医師の理解をどのように得ていくのがよいのでしょうか？



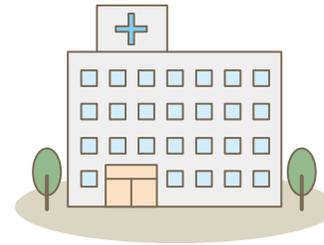
A.4 本活用ガイド掲載医療機関の取材では、特定行為研修を推進する委員会や組織の長である医師が、自ら研修指導医となったり、指示を出す医師として日頃から業務を行っている様子が見られました。例えば、本活用ガイドのP32に掲載されている徳島大学病院の例のように、特定看護師をよく知る医師の数を増やしていくことや、研修指導医になってもらうことは効果的だと思います。

Q.5 外科病棟の看護師が、特定行為研修を受講したいと思うモチベーションを上げるコツはなんですか？



A.5 本活用ガイド掲載医療機関の取材では、未受講の看護師へ周知するイベントの開催が必要となる様子もうかがえましたが、例えば、本活用ガイドのP16に掲載されている国立病院機構大阪医療センターの例のように、特定行為研修のアンバサダーとして、研修修了者本人が研修で得た知識を、教育の一環として未受講の看護師に還元することは特定行為を知ってもらうよい機会であるようです。周知活動は地道に続けていく必要があります、本活用ガイドもその一助としていただければと思います。

Q.6 特定行為研修を修了した看護師が当院に存在するのかわかりません。どうしたらよいですか？



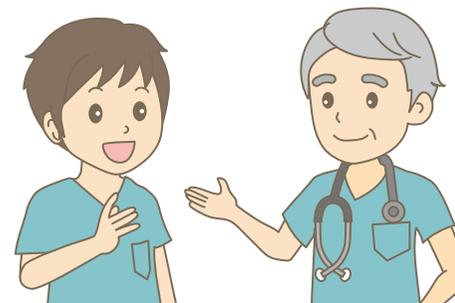
A.6 本活用ガイド掲載医療機関の取材では、ほとんどの特定看護師が看護部に所属していることがわかりました。まずは看護部門へお問い合わせいただければと思います。また、タスク・シフト/シェアの観点からも特定看護師は注目を浴びているので、医療機関の働き方改革関連の委員会や、人事・労務管理部門にお尋ねになることで詳細を把握できるかもしれません。

Q.7 医師の指示を、明確に記録として残すための工夫にはどのようなものがありますか？



A.7 医師の指示の記録を行うことは、医療安全上も大変重要です。指示される特定行為は緊急ではないものも多く、例えば、本活用ガイドのP36に掲載されている熊本大学病院の例のように、検査のオーダーリングシステムを応用して、特定看護師に指示を出すような工夫をしている医療機関もあります。

Q.8 実施済みの特定行為を院内で集計・分析するための電子カルテの見本フォーマットはありますか？



A.8 本活用ガイドのP20に掲載されている新東京病院が採用している、特定行為と実施者、コメントのフリー入力ができるフォーマットをご参考になさってみてください。

